

第 5 次総合振興計画に関する公開質問の記録

ぬま健司の質問 (3月6日)	田辺一城市長の回答 (3月27日)	備考
①第5次総合振興計画策定の方針の概要を説明されたい。	次期総合振興計画の策定方針は現在検討中である。	私が前市長に提言してきたことが全く生かされていない。
②他自治体の取り組みを参考に見ると、次期計画の3年前、すなわち2019年度には市民アンケートを実施しているケースが多くある。古賀市では2019年度に市民アンケートを計画するか。	2019年度に次期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定することとしており、その資料の1つとなる市民アンケートは2019年度に実施する予定である。このアンケートは、次期総合振興計画の策定にあたって市民の皆さまの声を政策に反映していくための重要な資料にしていきたいと考えている。	策定方針が未定なのに、次期地方創生総合戦略策定のためのアンケートが次期総合振興計画策定に向けた取り組みであるかのような説明は問題である。
③アンケートについては、設問のあり方も工夫が必要だ。重要度と満足度を聴取したり、各事業に対する費用負担額を聞き出す方法も注目されている。どのようなアンケートを目指すか。	アンケートの実施形態は現在検討中である。	大野城市や久山町のアンケートを研究することを勧めたい。
④次期計画策定にあたって財政見通しを示すべきと思うがいかがか。市民と財政状況を共有し、選択と集中を市民とともに判断することが大切だと思う。市民とともにSIM2035の取り組みをしたら良いと思うがいかがか。	村松議員の一般質問で答弁させていただいたが、今後作成する中期財政見通しについては、公表することを想定し、検討したいと考えている。SIM2035の取組に関しては、ご提案として承る。	総合振興計画には人口フレームや財政計画が必要不可欠であるという認識が問われている。SIM2035は取り組むことになっているのではないか。
⑤次期計画策定にあたって、目標の設定をどう考えているか。現計画の人口目標65000人は見直しが必要と判断している。久山町や宮若市が取り入れている「新国富論」「新GDP」の考え方を採用すべきと考えるがいかがか。	目標設定については現在検討中である。「新国富論」「新GDP」に関しては、ご提案として承る。	前市長に提言してきたことが生かされていない。久山町、宮若市、防府市等の取り組みの調査研究を勧めたい。